

令和2年度第1回牛久市男女共同参画審議会議事概要

《公開》

1. 日時 令和2年7月7（火）午後2時から午後3時15分まで
2. 場所 牛久市役所4階第4会議室
3. (出席者)(会長・副会長以下五十音順)(審議員15名のうち13名)
金谷正彦会長、森川志子副会長、青木進委員、岡見清委員、小野寺治子委員、
金井幸雄委員、中村康範委員、本多恭子委員、本田雅美委員、
深山裕見子委員、村武修司委員、山口廣委員、横田守委員
(事務局) 市民活動課長兼男女共同参画推進室長、市民活動課担当職員1名
4. 議題
 - (1) 男女共同参画審議会の役割について
 - (2) <報告>第3次実施計画 令和元年度実施状況報告
 - (3) <報告>事業所アンケートの集計報告
5. 傍聴人の数 なし
6. 審議の内容
 - (1) 男女共同参画審議会の役割について
 - 事務局から審議会委員の役割を説明。
 - (2)【第3次実施計画 令和元年度度実施状況報告】
 - 事務局から、全177事業のうち、目標値に達した事業(5項目)、主な実施事業について報告。

<委員からの審議内容>

 - 「事業番号1 広報紙・情報紙等による情報提供・男女共同参画週間・月間の活用」について、情報紙「リ・ポーン」は昨年度作成したか。

※広報うしく令和2年2月1日号にて、牛久市男女共同参画の取り組みに関する特集記事を掲載したため、昨年度のリ・ポーン作成は割愛しました。

 - 「事業番号2 男女共同参画啓発図書・ビデオコーナーの設置」について、市中央図書館の男女共同参画図書コーナーは関連図書18冊新規購入され充実しておりますので、ぜひ活用してまいりましょう。
 - 「事業番号16 健全な食生活を実現するための食育の推進」について、今年度は学校給食がようやく通常通り提供できるようになった。食育に関しては、朝食を摂らない児童・生徒がいることも把握しているため、学校側から児童・生徒や家庭に対して、引き続き朝食を摂る大切さを伝えていきたい。
 - 「事業番号51 ボランティア活動の参加促進」について、社会福祉協議会のボランティア登録団体は高齢化によるメンバー減や団体の消滅がみられるようになってきた。地域の一人ひとりを誘って地域活動が活発になるような働きかけが必要である。
 - 「事業番号65 地域における方針決定過程への女性の参画拡大」について、私は平成2年から23年間、女性としては珍しかった区長を務めたが、その間、行政区内の多くの女性に地域活動へ参加していただいた。現状の女性区長数は高いとはいえないが、女性が区長をすることで地域の女性が参加しやすい環境になると思うので、参考にさせていただければ幸いです。
 - 「事業番号67 環境保護活動への参画の支援」について、9千人もの参加者があった「う

しくみらいエコフェスタ」は良い取り組みである。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら行われる、新しい環境保護活動に関心を抱いているので今後に期待したい。

- 上記に関連して、例えば市社会福祉協議会では、動画を活用した遠隔研修として「はじめてボランティアオンライン講座」を開催しますので、紹介させていただきます。
- 「事業番号 93 病児・病後児保育についての調査研究」について、牛久みらい保育園では、龍ヶ崎・牛久医師会と連携しながら、満1歳から小学3年生まで、感染症の回復期にある病後児保育を行っている。780件の登録者は居るものの、利用者は多いとはいえ、宣伝をする必要を感じている。
- 「事業番号 118 地区の自主的な健康づくり活動の支援」について、神谷脳トレ体操は先進的な取り組みであり、今後普及されていくことが期待される。
- 「事業番号 153 介護予防のための施策の推進」について、介護予防の取り組みが、その後の生活に与える効果を把握することが望ましい。

(3)【事業所アンケートの集計報告】

- 事務局から調査の概要と前回調査との変化や主な特徴について説明。

<委員からの審議内容>

- 新しい生活様式に基づくと、テレワークが進み、家事や子育てに男性の分担が増えてくる。新しい生活様式に関する質問をアンケート調査の項目に加えるとよい。

※市民意識調査、事業者アンケートは経年変化をみるため意図的に同じ質問項目としていますが、新しい生活様式が男女共同参画に与える影響は大いに考えられるため、関連質問を加えることを検討します。

以上